

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【公開番号】特開 2001-120501 (P2001-120501A)  
 【公開日】平成 13 年 5 月 8 日 (2001.5.8)  
 【出願番号】特願 平 11-307345  
 【国際特許分類】

**A 6 1 B 1/04 (2006.01)**  
**H 0 4 N 5/225 (2006.01)**  
**H 0 5 K 1/18 (2006.01)**  
**H 0 5 K 3/34 (2006.01)**  
**H 0 1 L 27/14 (2006.01)**

【F I】

|         |       |         |
|---------|-------|---------|
| A 6 1 B | 1/04  | 3 7 2   |
| H 0 4 N | 5/225 | C       |
| H 0 4 N | 5/225 | D       |
| H 0 5 K | 1/18  | C       |
| H 0 5 K | 3/34  | 5 0 1 E |
| H 0 1 L | 27/14 | D       |

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 24 日 (2006.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内視鏡基端側に延出する外部リードを有する固体撮像素子と、前記外部リードが接続される回路基板とを有する固体撮像装置において、

前記回路基板に構成された外部リードの接続導体部を千鳥状に配置したことを特徴とする固体撮像装置。

【請求項 2】

前記接続導体部は、千鳥状に配置されるとともに、隣接する接続導体部同士は、内視鏡長手方向に重なりがなく、離間させて配置したことを特徴とする請求項 1 に記載の固体撮像装置。

【請求項 3】

前記回路基板上の電子部品の G N D 電極が回路基板上で同一辺上に配置されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の固体撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

回路基板 4 7 には、C C D 4 6 の出力信号を増幅するための I C 4 8 や、ノイズ除去用コンデンサ等の電子部品 4 9 が実装されている。I C 4 8 には、パターン 4 7 b 側にバンブ 4 8 a が設けられている。回路基板 4 7 の内視鏡装置基端側には開口部 5 0 が設けられ

、開口部 5 0 において露出したパターン 4 7 b によってインナーリード部 4 7 e が形成される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

